

メディアは包囲されていく大衆の注意を逸らし続けている

Dane Wigington (GeoengineeringWatch.org)

Feb. 4, 2014



我々すべては壮大な致死実験のモルモットである

想像を絶する地球規模の気象実験が、ほとんど信じられない長年月にわたって進行している。世界を運営支配している“集団的狂気”の活動について、何冊かの本を書かないかぎり、このウサギの穴がどこまで深いものか、見当さえつかないであろう。どうしてほんのわずかの病的に異常なサイコパスたちが、世界の全人口に対して支配力をもつようになったのだろうか？ それは、現在まで、ほとんどの人々が「そんなことがあるはずがない」と考え、権力者たちによって教え込まれた“公的物語”を受け売りし、快適な幻想のゾーンに生きていたからである。今、我々の周囲で明らかになりつつあることを、もはや否定できなくなり、頭を砂に隠して知らぬふりをする時代は、急速に終わりつつある。残された時間で、我々が集団的にどう行動するかによって、地球惑星の生命を救う道があるかないかが決まってくるであろう。

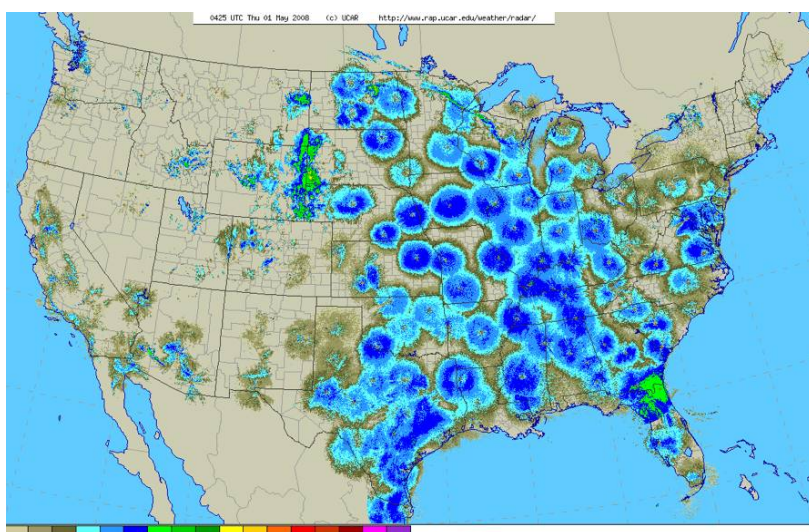
絶えず変わっていく情報のスピードに遅れないこと

人工的/化学的核をもつ雪については、今やっと批判の目覚めが起こり始めている。我々はいくつかの目覚めの炎をあおり立て、一方では、絶えず変わっていくデータを調べ続けなければならない。次はその一例だが、「ウェザー・チャンネル」が、きょう、今後数日間に降

る雪は「一月に降った雪とは違い、重く湿った雪」になるだろうと、しきりに強調していた。これはそのままの引用である。確かに、気象操作をする連中が化学物質の混合、つまり人工核作りの方法を変えれば、与えられたどんな日の、どんな“嵐”でも、それは非常に違ったものになり得る。

これを確かめる多くの要因があるから、雪の人工核作りが行われていることに疑問の余地はない。まず、レーダーの画像で、雨の地帯が突然、雪に変わるのを見ることができるが、その場合しばしば、氷点よりもかなり高い温度で降雪が始まっている（ただし、現在起きている核作りの方法は、これを実施結果として、短期間の極端な冷却を氷点よりもはるかに低い所にまで下げるが）。次に、最近の雪のサンプルには、完全に変則的な“溶けない”特徴がある。最後に、これは最も重要だが、我々の実験室テストの結果、気象操作特許に正確に一致する有毒金属が、雪の中に検出された。しかし、そこまで分ったとは言っても、使われているあらゆる混合物や、人工核の方法については、まだわからないことが非常に多い。条件はさまざまであり、現によく変わるので、我々は特定の出来事に捕われてはならない。また忘れてならないのは、自然の雪も、適切な条件下では依然として存在することである。ただ、空から降ってくるすべてのものは、現時点では、ある程度まで汚されている。

下のレーダー画像は、この方程式の変数の1つの例である。この沢山の無線周波塔は、散布された大気圏の微粒子の振舞いの中で、どんな役割を演じているのだろうか？ バリウムのような微粒子の特定の分極化は、氷の核を、氷点よりもかなり高い温度で作らせることができることも事実だ。



気象操作は、一つの想像もできないほど巨大な、進行中の**実験**である。実験は常に変わっ

ていくもので、この場合も例外ではない。最近の、普通の溶け方をしない、化学的に作られた核をもつ雪に、これだけの注目が集まったからには、実験はすでに変更されたかもしれない。「ウェザー・チャンネル」が、これから降る雪は「一月に降った雪とは違う」と、ここ数日しきりに強調していたのは、単なる偶然の一致だろうか？

米政府によって過去に行われた実験の記録

ABC's Unsolved Mysteries: Toxic Clear Gelatinous Blobs in Rainfall Sicken Residents of Oakville, Washington State-1994 ABCの未解決の謎：雨に含まれた透明なゼラチンの塊りが、ワシントン州オークヴィルの住民を病気にした—1994（リンク）

What Is Another Example of Our Government Experimenting on Innocent Civilians? 我々の政府が罪のない市民に人体実験をしたもう一つの例とは？（動画へリンク）

The 13 most evil experiments conducted on civilians by the US government 米政府によって市民に対して行われた13の最も邪悪な実験（動画へリンク）

身の毛のよだつような出来事——気象操作、数十の国家の陥った混乱と資源枯渇、福島
の核メルトダウン、死んでいく海など——が地球上で進行している間、きょう（2014/2/4）の
主流メディアのニュースは次のようなものである——

CNN 不法移民問題

FOX ベンガジ問題

MSNBC オバマの人格問題

主流メディアは——それが彼らの仕事なので——陰惨で重大などんな出来事からも、一般の注意をそらそうとし続けるだろう。彼らは、つまらないドラマを次々と流し、気象操作のような重大な問題に注意を喚起するものがあれば、何だろうと、その信頼を失わせようとするだろう。

我々一人ひとりが意識をもち、目覚めていなければならない。我々は毎日欠かさずデータを調べ、変化についていけるように、思い込みや結論にはまり込まないようにしなければならない。人工的/化学的な核をもつ雪の場合、それは事実なのか？ イエス。そのような雪はいつも同じか？ 地上のデータ、実験室テストのデータ、そして健全な理性は「ノー」と言う。現在行われている“実験”は、条件が変われば、いつでも変わることができる。どこかの地方の人々が、こちらの雪は正常のようだと報告し、その通りであることも十分

あり得る。だからと言って、とても奇妙な不自然な雪だったと報告した人々が、間違っていたのでもない。人工的な核の雪は現実で、検証可能である。実験室テストの結果、それが有毒金属に満ちていることがわかっており、我々は他の成分がないか更に調べている。起こっている事実の理解と判断力を高めながら、我々は絶えず目を覚ましていなければならない。